

「第4回相互連関を考慮したライフライン減災対策に関するシンポジウム」開催のご案内

近年のライフライン地震防災の最新の研究動向や実務の先進的な取り組み事例並びに実態を、ライフライン地震工学に関わる研究者・技術者、事業者および自治体職員等の間で広く情報共有することを目的として、標記シンポジウムを開催することといたしましたので、ふるってご参加下さいませよう、ご案内申し上げます。

記

1. 主催-----土木学会・地震工学委員会 ライフラインの地震時相互連関を考慮した都市機能防護戦略に関する研究小委員会（委員長：能島暢呂・岐阜大学教授）
2. 後援-----神戸市水道局，関西ライフライン研究会
3. 日時-----12月7日（金）10:25～17:20
4. 場所-----神戸市水道局 たちばな職員研修センター
5. 費用-----5,000円(シンポジウム論文集1部購入につき)
6. 問合せ-----土木学会事務局 研究事業課 ライフラインシンポ担当 TEL:03-3355-3559
7. プログラム（各発表において、発表10分、質疑応答5分）
 - 10：25－ ：開会の挨拶 能島暢呂委員長
 - 10：30－12：15：セッション1 座長：朱牟田善治
 - 丸山喜久 東北地方太平洋沖地震後の東京都における道路交通需要の推定
 - 小林朋美 道路網GISデータに基づく地中埋設管分布データの推定
 - 小池武 広域巨大地震に対する空間規模の異なる都市ライフラインの地震防災対策
 - 永田茂 東日本大震災における企業公開情報を用いた施設被害及び事業影響に関する分析
 - 大西洋二 東日本大震災における岩手県の応急給水に関する実態調査
 - 高木亮祐 東日本大震災における水道支援の教訓と兵庫県での広域連携
 - 鮫島竜一 被害想定の見直しを見据えた浄水場の事業継続に関する取り組み事例
 - 13：30－14：00：基調講演 座長：片岡 正次郎
 - 小池武 ライフライン地震工学－今後の課題
 - 14：00－15：30：セッション2 座長：片岡 正次郎
 - 鬼塚信弘 東北地方太平洋沖地震の液状化発生有無の違いによる強震動に関する一考察
 - 大田肇士 首都圏における高密度な地震記録を用いた広域地盤データの評価
 - 乗藤雄基 東日本大震災における液状化発生状況のSUPREMEによる推定
 - Mahdi Faraji Interdependency Effect on Seismic Performance of Lifelines
 - 朱牟田善治 ライフライン施設の津波漂流物被害推定に関する基礎検討
 - 中村友治 津波被害推計に利活用するための道路等交通インフラの被害率曲線の構築
 - 15：45－17：15：セッション3 座長：丸山喜久
 - 七郎丸一孝 微地形分類の境界条件を考慮した水道管路被害率の一考察
 - 築地拓哉 2011年東北地方太平洋沖地震で被災した茨城県鹿行地域の上水道配水管路に対する被災分析
 - 金子正吾 断層横断部の耐震継手ダクタイトイル鉄管の挙動に関する研究
 - 小淵清志 道路盛土の被災箇所における耐震継手ダクタイトイル管路の挙動調査
 - 鈴木崇伸 マンホールの浮上防止対策の検討状況とその効果について
 - 能島暢呂 水道統計に基づく配水管路網の脆弱性評価
 - 17：15－17：20：閉会の挨拶 庄司学副委員長